

基板試作

ワンストツプサービス

電子技販 2—10日に納期短縮

電子技販（大阪府吹田市、北山和弘社長、06・6386・0401）は、電気機器・機械向けの基板の試作ワンストツプサービスを8日に始める。

試作基板の設計から実装まで一貫して請け負い、通常2—4週間かかる製作時間を2—10日程度に大幅短縮する。08年10月期に同サービスで売上高3000万円、09年

10月期には同1億円、以降毎年1億円ずつの売り上げ増を目指す。同社はサービス展開に合わせ、試作受注のための専用ウェブサイト「試作ステーション」を設置

する。独自のシステムにより急ぎの顧客には、電子メールによる簡易の即時見積もりで対応。通常24時間程度かかる見積時間を省略する。基板に搭載する電子部品調達も、

迅速な処理を行うため、試作の受注・管理の専任担当者を1人配置する。人材募集を行うなどして担当者を毎年1人ずつ増員する予定。受注獲得のためには、検索エンジン最適化（SEO）で顧客の目に留まりやすく

自社のストックや代理店販売で培った取引先の各部品メーカーのストック情報を生かし、短時間で行う。

するほか、展示会に出展してアピールする。1—5枚の小ロットの基板の一貫した試作体制は珍

しく、メーカーの開発・設計部門からの需要を見込む。